

## ● 現場改善実践コース（全7回）講座内容 ●

～第7回は現場実習を予定しております～

コース名	現場改善実践コース（姫路）		
科目名	現場改善の環境作り（5S・3定改善と見える化）		
講師名	植條英典	授業日数	1日間（1日目）
講義目的 達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現場改善の重要性を知る</li> <li>2. 5S・3定（定位・定品・定量）と見える化の基本と実践方法を学ぶ。 ※3定の良否を簡単な方法で判定する「物探しテスト」を紹介します。</li> <li>3. 演習と事例研究により、自社での展開方法を習得する （自社の職場写真1枚に対しての5S改善計画書を作成していただきます）</li> <li>4. 約300社の製造業で、5Sの実践指導の経験を持つ講師が、失敗談や成功例を交えて講義と演習を進めます。</li> </ol>		
授業計画 講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現場改善活動の目的と重要性 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 現場改善活動での5Sの位置付け</li> <li>② 5Sの目的（生産性向上、お客様への安心度UP、人材育成）</li> <li>③ 5SとQ（品質）、C（コスト）、D（納期）の相互関係</li> </ol> </li> <li>2. 5Sの正しい理解と実践での留意点 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 整理と整頓の定義と効果的な実践方法</li> <li>② 清掃は点検なり</li> <li>③ 清潔と躰の考え方と定着化でのポイント</li> </ol> </li> <li>3. 3定（定位・定品・定量）の基本と実践方法 演習1. 自社の写真（3枚）から3定の改善案を考える 演習2. 「物探しテスト」の実践方法</li> <li>4. 見える化の基本と実践 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 見える化の定義</li> <li>② 見える化の具体的な進め方</li> <li>③ 「5S+見える化」によって効果が上がる</li> </ol> </li> <li>5. 「目で見える管理」の事例研究 いろいろな参考例を掲示します。</li> </ol>		

コース名	現場改善手法コース（姫路）		
科目名	現場の問題をIEで改善する		
講師名	植條英典	授業日数	2日間（2－3日目）
講義目的 達成目標	1. IE技法の基本を学ぶ 2. 演習によりIE技法の実践方法と勘どころを習得する 3. 製造現場での改善に役立たせる 4. IEマンとしての心得を身に付ける 5. 自社でのIE改善計画を検討する （ある職場を設定して改善方法を考える）		
授業計画 講義内容	1. IE技法の基本学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>① IEの定義</li> <li>② IE技法の体系 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 方法研究</li> <li>(2) 時間研究</li> </ul> </li> <li>③ IE技法の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 動線図</li> <li>(2) 製品工程分析</li> <li>(3) ライン・バランシング</li> <li>(4) 作業分析</li> <li>(5) 動作経済の原則</li> </ul> </li> </ul> 2. 演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 動線図の作成と製品工程分析の方法</li> <li>② ライン・バランシング演習</li> <li>③ ワーク・サンプリング法</li> <li>④ 段取り作業の改善</li> <li>⑤ 組立作業の改善</li> </ul> 3. IEマンの心得 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 工場内における物と人の見方と考え方</li> <li>② IEマンの役割</li> <li>③ IEマンが活躍するための秘訣</li> </ul>		

コース名	現場改善実践コース（姫路）		
科目名	ムダを見つけムダを取る		
講師名	桑田 和彦	授業日数	1日間（4日目）
講義目的 達成目標	<p>(講義目的)</p> <p>1.「3ム」に対する一般認識の修得.</p> <p>2.職場・業務には「ムダ」がある。その「ムダ」の排除方法</p> <p>3.改善する基本は「ムダ排除」にある</p> <p>4. “ムダ” の発生原因(要因)と排除</p> <p>(講義目標)</p> <p>1.受講者が職場・業務の「ムダ」の認識と.「ムダ」の抽出体験</p> <p>2.「ムダの種類」と「ムダ排除」技法取得</p>		
授業計画 講義内容	<p>オリエンテーション</p> <p>1.企業の生産性向上の基本事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上の諸要素、経営資源の改善</li> </ul> <p>2.JIT生産と“ムダ排除の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底したムダ排除の事例、自動車会社の7つのムダとは</li> </ul> <p>3.「ムダとは何か」のケーススタディ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムダの顕在化の体験、</li> </ul> <p>4.「ムダを見つける技法」と「ムダ取りの技法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジット見る活動、分析技術、3現主義</li> </ul> <p>5.改善活動の“ムダ排除”の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善活動のステップの基本、(問題解決のステップ)</li> <li>・管理技術活用による「ムダ排除」</li> </ul> <p>6.ムダ排除のグループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の基本技法・・・親和図法とアイデア発想</li> <li>・異業種交流での「ムダ」の情報交換</li> <li>・グループ研修</li> </ul> <p>7.成果発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ発表</li> <li>・講師講評、質疑応答</li> </ul>		

コース名	現場改善実践コース（姫路）		
科目名	短時間・短期間改善手法		
講師名	桑田 和彦	授業日数	2日間（5－6日目）
講義目的 達成目標	1. 短時間・短期間で現場の問題を解決するための手法を学び自社にカイゼンの【仕組み】を導入する。 2. 従業員全員による問題への【気づき】を喚起させるための方法を学ぶ。 3. カイゼンの仕組みを用い実施の方法を演習で学ぶ。 4. 自社での活動計画を立案する。		
授業計画 講義内容	1. カイゼンの基本学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 全員参加のカイゼン必要性</li> <li>⑤ 問題への気づき【ブレインストーミングと発表】</li> <li>⑥ カイゼンの仕組み作り <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 取り組み方法</li> <li>(2) 全員の巻き込み</li> <li>(3) 問題の可視化</li> <li>(4) 成果の共有</li> <li>(5) 原価の三要素</li> </ul> </li> <li>⑦ 短時間・短期間カイゼンの進め方</li> <li>⑧ 短時間・短期間カイゼンのしくみ作り</li> </ul> 2. 演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 朝礼でできる問題解決手法</li> <li>⑦ 気づきの質の高め方</li> <li>③ 自社での改善計画を立案</li> </ul>		